令和７年度　「学校経営方針の基本方針」と「学校関係者評価」

目指す学校像

子供は未来の守護者

〔安全・安心〕
安全・危機管理を徹底し、安全を全てに優先させる
大人も子供も人権を尊重し、誰もが安心して過ごせる
〔ワクワク〕
授業が楽しい、学校が大好き、学校に行きたい
学校の判断基準は、「子供にとってどうか」
〔未来創造〕
未知の課題に自ら対峙し、協働して未来を創造する
心身共に健康で創造性に富み、調和のとれた子の育成

信頼される教育の確立

教育委員会基本方針

学校教育目標

目指す教師像
○野球型からサッカー型の経営参画
○心・愛情・言葉・表情豊かな人権感覚
○安全を全てに優先させる危機管理
○付加価値を付け、結果に責任を持つ
○人と、言葉で、心がつながる教師

育　て　た　い　子　供　像

確かな学力の定着 ― よく考える子
自ら学びに向かい、創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く子
○ 学びを生かそうとする主体的に学びに向かう力を涵養するとともに、学習習慣を確立する。
○ 実際の社会や生活で生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。
○ 答えのない課題に納得解を導き、新たな価値を創造することができる資質能力を育成する。

豊かな心の醸成 ― 思いやりのある子
認知機能を高め、自分も他の人も尊重し、敬意をもって大切にできる心豊かな子
○ 個性を生かし、相互の信頼関係を深める中で自己の存在価値の認識等、自己有用感を高める。
○ 認知機能を高め、感情統制、対人スキルを養い、自他共に敬意をもって関係する力を付ける。
○ 自他を大切にし、共によりよく生きるために、児童の内面に根ざした道徳性を育成する。

健やかな体の育成 ― 健康な子
基本的な生活習慣を身に付け、運動に親しみ、心身共に健康で活力に満ちた子
○ 一人に一つの命を自覚し、新しい生活様式に基づき、全ての人の命を守る意識と行動力を育成する。
○ 基礎的な体力の向上と運動習慣、生涯に渡って積極的に運動に親しむ資質や能力を高める。
○ 心と体の関連性を理解し、様々な欲求やストレス等に対して、適切に対処できる力を育てる。

輝く未来に向かって ― すすんで働く子
未知の課題を思索し、新たな価値観や行動を生み出し、協働して未来を創造する子
○ 主体的・対話的で深い学びができる言語能力とともに、未知の課題に向き合い思索する力を養う。
○ 高度情報化社会に柔軟に対応する情報活用能力とともに、新たな解を創造する力を付ける。
○ 多様な文化を尊重し、世界の人々と協調しながら国際社会で活躍できる人材を育てる。

１５の基本取組

令和６年度までの２５の柱を１５項目に焦点化

1　安全管理・危機管理
2　コミュニティー・スクール
3　垣根のない学校
4 学習習慣・学習規律の定着
5 基礎的・基本的な学力の定着
6 新たな価値を創造する力
7 自己有用感の醸成
8 認知機能・社会性の向上
9 内面に根ざした道徳性の涵養
10 健康管理・食育の推進
11 体力・運動能力の向上
12 心の居場所づくり
13 言語能力の向上
14 情報活用能力の向上
15 探究力の向上